

議会

Assembly

串間市議会議員
木代幸一



謹賀新年

平成二十二年

行政

Administration

串間市長
鈴木重格



あけましておめでとうござります。市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。わたしも市政の進展と円滑なる議会運営に微力を尽くしておりますが、市民の皆さまの温かいご指導やご厚情に対し感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと4月にメキシコで確認された新型インフルエンザが世界的に大流行し、国内でも一部ワクチン接種が始まったものの、今後の感染者動向も踏まえた対策が望まれます。国政にあつては第45回衆議院総選挙にて民主党が圧勝、政権交代し鳩山内閣が発足。行政刷新会議による事業仕分けでの事業廃止・見直しにより、大変厳しい2010年度の予算編成が見込まれます。そのような世相を反映し昨年の流行語大賞には「政権交代」が選ばれ「事業仕分け」「脱官僚」「派遣切り」などがトップテンに入りました。

当市にあつては、串間駅前、国道448号の小崎、名谷バイパス（トンネル）のインフラ整備がなされました。しかし、東九州自動車道、国道220号の大幅予算削減・見送りは、極めて遺憾なことです。今後、官民の根強い活動が肝要です。

あけましておめでとうござります。今年が皆さまにとって希望に満ちた幸多き年になりますよう、心からお祈りします。

私は20代で、串間市議会議員に当選させていただいて以来、40年にもなるうとする政治経験の中で「ここは串間市にとって踏ん張りどころだ。ここで易きに流れては、串間市という地域が衰退し、なくなってしまう」と考え、目の前にある課題解決に全力で取り組んでまいりました。そして、市長に就任して今でもフツと思うのが「串間市の長い歴史の中で、だれも経験したことのない財政危機と合併問題という大変革のときに市長に就任した」ということです。

このような難局において大切なことは「知恵と汗」であると考え、職員一人ひとりの意欲を引き出し、小さな成功を積み重ね、それが確固とした自信につながることで自立に向けたまちづくりの気運を盛り上げていく、と決断し取り組んできました。また、予算の適正配分と甘えを許さぬ人事、職員の仕事力向上、新しい時代に即した串間の魅力の掘り起こしなど、串間市が生き残るために絶対に必要

「しあわせで、住みよい、豊かな串間の創造」に向け行政とともに誠心誠意努力します。

さて、本年も昨年同様、きびしい社会経済環境の下、地方分権が進められますが、昨年の政権交代で、自治体は根本的な政策転換が迫られ、自らが決定し、自らが責任をとる自治体運営が求められます。分権は、民意の反映、市民自身の権限を強めるものでなければならず、まさに行政の真価が問われています。一方、議会においても多様な民意の反映、集約などの役割、また議決機関・監視機関としての機能充実・強化が求められており、議会の活性化や議会改革が喫緊の課題と言われています。

昨年12月議会では、くしま市の一環として市内中学生が議会を傍聴しました。さらに多くの市民の皆さんにも議会の傍聴をさせていただきたいと思っております。そのための議会改革についても協議・検討を進めてまいります。

本年は、市長選挙、第5次串間市長長期総合計画の策定の年でもあります。「しあわせで、住みよい、豊かな串間の創造」に向け行政ともども誠心誠意、努力して参ります。皆さまの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。幸多い年でありますようお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

市民の幸せ、地域の活性化を肝に銘じ、最後まで精一杯務めてまいります。

な戦略を展開してきました。

その結果、長年の懸案事項であった都井岬観光ホテルと串間温泉いこいの里の再建を果たし、第三セクターからの脱却という難問を解決できました。そして「市民の安心・安全のまちづくり」を実現するために串間市民病院や串間市総合保健福祉センターの建設、第3子以降の保育料無料化に取り組みました。さらに、昨年は沿海南部広域農道が全線開通し、観光振興の拠点である国道448号の都井岬「恋ヶ浦トンネル」と「名谷トンネル」が、それぞれ完成しました。また、吉松邸と駅周辺を利用したにぎわいづくりなど、取り組んだ内容は枚挙にいとまがありません。市民の幸せ、地域の活性化を肝に銘じてこれらに取り組んだことが、串間の明るい未来の礎になったと自負しています。

昨年の9月議会で次期市長選不出馬を表明しましたが、これまで磨き上げたバトンを次の世代に引き継ぐことができると思っています。今後も残された任期を最後まで精一杯務めてまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力を、謹んでお願い申し上げます。